

岩見沢市

緑の相談コーナーだより

No. 351

2014 年 9 月 1 日 発行

〒068-0833 岩見沢市志文町 794 番地 いわみざわ公園 室内公園「色彩館」

アベリア (ハナゾノツクバネウツギ)

Abelia × *grandiflora* (Rovelli ex André) Rehder

アベリアは大気汚染に強く、強い刈り込みに耐え、花期が長いため、都市緑化の素材として非常に重宝されています。艶やかな葉と可愛らしい花とで、東北以南の都市景観の名脇役となっています。半常緑の低木で、披針形の葉が輪生したシュートを多数出し、ブッシュ状に繁ります。主に春から秋にかけて



て、シュートの葉脇から出て葉が対生する細い枝の先に、長さ約 2cm の白色または極淡い桃色の釣鐘型の花を多数咲かせます。花には淡く甘い香りがあり、ハチやチョウがよく訪れます。

園芸において単にアベリアと呼ぶ場合、中国中部から台湾・日本にかけて分布するアベリア・キネンシス(*A. chinensis*)と中国中南部原産のアベリア・ユニフロラ(*A. uniflora*)との交配種アベリア・グランディフロラ(*A. ×grandiflora*)を指します。イタリア北部ピエ

モンテ州マッジョーレ湖のほとりにあるロベリ種苗園で 1886 年に作出されました。その後も斑入りなどの変異が次々に作出・選抜され、数多くの園芸品種を擁しています。一応ハナゾノツクバネウツギまたはハナツクバネウツギなどという和名はありますが、長さが災いしたのか定着せず、アベリアという呼び名が広く通用しています。

また、*A. ×grandiflora* と他の種との交配も行われております。代表的な品種として、中国中部原産のアベリア・シューマンニー(*A.*

schumannii)との交配種エドワード・ゴーチャー(“Edward Goucher”)があります。これらの交配種や、*A. chinensis* の園芸品種も単にアベリアと呼ばれることがあるので、注意が必要です。



アベリアが属するツクバネウツギ属の和名の由来は、日本原産のツクバネウツギ(*A. spathulata*)の花弁が落ちた後に細長いがく片が5枚残り、その下の子房の膨らみと合わせ

て羽根つきの羽根(つくばね)に似ていることによります。東アジアと中米に 15~30 種類が分布し、いずれも落葉または半常緑の低木です。従来はスイカズラ科とされていましたが、近年の APG 分類体系ではリンネソウ科に含まれています。

A. chinensis はがく片が 5 枚で花冠の長さが約 1cm、*A. uniflora* はがく片 2 枚で花冠の長さ約 2.5~5cm です。アベリアはがく片が 2~5 枚(左写真参照)で、花の大きさと併せ考えるとやや *A. chinensis* に近いものの両者の中間だといえます。エドワード・ゴーチャーでは、*A. schumannii* の影響を受けてがく片が 2 枚の花がほとんどです。

当園では、基本タイプの *A. ×grandiflora* と、斑入りの品種サンライズ(“Sunrise”)を、色彩館大温室に植栽しております。

§ 公園近況 §

バラ園・・・現在バラ園ではカリ肥料の施肥を終えたところです。秋花(三番花)は一番花ほどの派手さはないものの、花色、香り共に深みを増し、今シーズンの最後を彩ってくれます。北海道ならではのバラの楽しみと言えるでしょう。秋花の見頃は9月下旬から10月中旬頃までです。

色彩館大温室・・・つるバラのマーメイドがぽつぽつと咲き続け、他のつるバラが本格的に秋花を咲かせるまでの間のつなぎ役となっています。アベリアがさかんに咲き、8月に花盛りだったキョウチクトウもまだまだ咲いています。担当者の予想に反してフェイジョアが数個結実しており、実が順調に膨らんでおります。チャノキの花が今月下旬まで咲き続けるでしょう。一年草花壇のコリウス

が元気に育ち、アジサイを思わせるほどの大きな葉を展開しています。

色彩館南国温室・・・繁殖のために熟した実を収穫したビロウが、新たな実を膨らませています。パキラは葉影に3個目の実が隠れておりました。グアバの実が順調に膨らんでいるため、今月中に最後の摘果を行う予定です。バナナは台湾バナナ・三尺バナナともに旺盛に育っていますが、なかなか花芽を出す様子がないのが残念なところです。パキスタキスが復調しており、池のほとりを美しく彩っています。ストレリチアは意外にも蕾の成長がゆっくりしており、今月が本格的な見頃となりそうです。そのストレリチアの裏手でコーヒノキがぽつぽつと結実しており、年末か年明けには完熟しそうです。

ひとつき ひとバラ



文；新堂 大樹
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト；石渡 杏奈
(いわみざわ公園バラ園)

第六回

グランディフローラ ローズ

クイーン エリザベス

Queen Elizabeth

作出国：アメリカ合衆国

作出者：ラマーツ

作出年：1954 年

ハーディネスゾーン：Z 5

繰り返し咲き性

交配：Charlotte Armstrong × Floradora



グランディフローラ系の代表品種で、この系統は本品種をもって確立されました。グランディフローラ系は、一茎一花で楽しむ大輪ハイブリッド系と、中輪房咲きになるフロリバンダ系をかけ合わせた系統で、中～大輪で房咲きになる両系統の良いところ取りのような系統です。作出の前年 1953 年に戴冠式を挙げたイギリス女王エリザベス二世に記念として捧げられたことから、この名前となりました。作出者のラマーツ博士は「グランディフローラの完全形式(花房の中で頂花が咲いているうちに下の蕾が咲き始めること)はクイーン エリザベスが最初でかつ最後かと思う」と述べており、彼にとって女王に捧げるにふさわしい最高傑作だったことが伺えます。作出翌年の 1955 年に AARS 受賞、他 5 つの国際コンクールでも受賞し、1979 年には先月の当コーナーでも紹介したピースに次いで「バラの栄誉の殿堂」に登録される

など、多くの受賞歴があります。更に、この品種は世話が全くいらないと言われる位に強健(※)で、「日本で放置しても咲き続けるのはこれだけ」と書く文献もあるほどです。マウント シャスタをはじめとした数々の交配種の親でもあります。

※当園のクイーン エリザベスは、他のバラ同様に丹精込めて育てております、念のため。

花は甘い芳香があり、柔らかいピンク色で丸弁盃状咲きの中大輪、最後は平咲きになります。樹高は 2～3m に及びます。当園では植栽 3 年目なので株はまだ小さいですが、一番花からほぼ途切れなく咲いてくれる頼もしさがあります。人の背丈を越す見事な株に育つのが楽しみです。

イギリス王室の居城・ウィンザー城の広大な芝生の周囲には、この品種が数千本も植栽されていると聞きます。バラ栽培に携わる者として、一度は生で見てみたい光景です。

§ 8 月の園芸相談から §

Q ; 鉢植えのピンク色のアジサイを庭に植えたところ、今年は青い花が咲いてしまいました。再びピンク色の花を咲かせるには、どうしたら良いでしょうか？

A ; アジサイは酸性土壌で花が青くなり、アルカリ性土壌ではピンク色になります。空知地方の庭土や畑土はほとんどが酸性ですので、何も手を加えなければアジサイは青い花を咲かせます。ピンク色の花を咲かせるためには、土をアルカリ性にしてやる必要があります。

雪融け後に苦土石灰を一握りほど株の周りにまき、軽くすき込みましょう。

9 月・10 月の市民園芸講座の御案内

9 月 21 日(日) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方

定員 40 人 無料

講師 ; 伊達 佐重 様 (北海道自然保護協会)

9 月 27 日(土) 10:00~12:00 殖やして楽しむバラ

定員 40 人 無料

講師 ; 工藤 敏博 様 (ローズgrower)

9 月 28 日(日) 13:00~15:00 バラで染めてみよう

定員 15 人 参加費 1500 円(材料代)

講師 ; 当園スタッフ

10 月 5・12 日(日) 10:00~12:00 ローズツアー

定員 40 人 無料

バラ園スタッフがバラ園を御案内します。

10 月 5 日(日) 13:00~15:00 秋植え球根を楽しもう

定員 40 人 参加費 2000 円(材料代)

講師 ; 高橋 かつえ 様 (フラワーマスター)

10 月 12 日(日) 10:00~12:00 秋バラを撮ろう !

定員 20 人 無料

講師 ; 若林 信男 様 (ナチュラリー写真家)

10 月 12 日(日) 13:00~15:00 庭木の冬囲い方法

定員 40 人 無料

講師 ; 久保 隆 様 (馬淵建設株式会社)

10 月 19 日(日) 13:00~15:00 花木・庭木の剪定と管理

定員 40 人 無料

講師 ; 川原 元信 様 (有限会社川原花木園)

10 月 25 日(土) 10:00~12:00 バラの越冬方法

定員 40 人 無料

講師 ; 工藤 敏博 様 (ローズgrower)

編集・発行 空知リゾートシティ株式会社 (いわみざわ公園指定管理者)

お問い合わせ先 いわみざわ公園 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー

0126-25-6111